

ステレオそれともサラウンド？スピーカーの数を選ばず最高の音質で音楽を！

AB NR1200 Special

ステレオ 2chAV

アンプ

¥140,000(税別)

コンプリートパッケージ

¥155,000(税別)



AB NR1710 Special

サラウンドマルチチャンネル AV アンプ

¥155,000(税別)

コンプリートパッケージ

¥170,000(税別)



コンプリートパッケージは AIRBOW Switch Leg を装着し、
高音質電源ケーブル AIRBOW KDK-OFC (2.0m) が付属します。

AV アンプの歴史が動く！

サラウンド音声のアナログからデジタルに切り替わった 2000 年から AIRBOW は、AV アンプの実力とコストパフォーマンスの高さに注目し、marantz 製品をチューンナップして圧倒的な高音質を実現した AIRBOW カスタム AV アンプの生産を続けてきました。そして、大画面テレビの値下がりによりリビングに迫力の大画面が普及するようになってからは、「リビングにスピーカーは 2 本で十分」と考えるお客様のために「ステレオ音声 (2ch)」で使える AV アンプの生産を marantz に訴え続けてきました。そしてついにその願いが現実となり 2019 年末、marantz から 2ch の AV アンプ「NR1200」がメーカー希望小売価格 7 万 8 千円という低価格で発売されたのです。

marantz のハイエンド・ピュアオーディオモデルは、プリアンプ部はアナログでパワーアンプ部がデジタル (D 級アンプ) のハイブリッドに変わりつつあります。NR1200 (NR1710) は、それとは逆のプリアンプ部がデジタルで出力段がアナログのハイブリッド構成になっています。どちらの製品も技術的にはすべての回路をデジタルに出来るにもかかわらずあえてそうしないのは、音楽を奏でるアンプとしてアナログらしい滑らかさや艶やかさを残したいと考える「marantz の音質へのこだわり」です。

marantz が音質にこだわったステレオ AV アンプ NR1200 の発売がオーディオアンプの「ピュア」と「サラウンド」の境界を消し去ります。2 本のスピーカーで TV (BD レコーダー)、スマホ、ネットワークとアナログ入力やレコード再生と両立して使いこなせる NR1200 を徹底的に高音質化した NR1200 Specialこそが、AIRBOW の目指す「良い音楽と共にあるライフスタイルの実現」に最も近いステレオアンプなのです。

コストに制限されることなくベースモデルを限界までグレードアップ

ステレオ AV アンプ NR1200 は、サラウンド AV アンプ NR1710 から 5ch のアンプを省いた設計ですが、プリアンプ部からサラウンド再生に必要なデジタル回路が取り除かれ、電源容量は同一なままパワーアンプの数が 7ch から一気に 2ch に減らされたことで、中低音の充実感や高域の細やかさなど「演奏の実在感 (リアルさ)」がベースモデルの段階ですでに高まっています。初めて本格的なアンプを購入する方なら、オリジナルの状態でも聞いてもあっと驚くような音質が実現していると思います。しかし、さすがに 50 万円を超えるような高級スピーカーとの組み合わせでは、音場がすこし平面的 (音の広がりが小さい) で楽器の響きも消えるのが早く、あっさりとしているなど「価格の限界」が感じられます。NR1710 も素晴らしいアンプですが、オリジナルの状態ではやはり、「価格の限界」を感じさせます。

しかし、コストに縛られることなく高音質を目指す AIRBOW カスタムモデルは、この部分に大きくメスを入れることが可能です。まず、どちらのモデルも電源の核となる「平滑コンデンサー」を各社がハイエンド製品に使うものと同様以上の高級グレードにアップし、その容量をオリジナルの 6800MF から一気に 2 倍近い 12000MF に大型化することで音楽表現のキーポイントとなる中低音の量感や音の密度感を大きく向上させています。内部パーツの交換は、オリジナル製品のままで電源ケーブルを 10 万円近いハイエンド製品に交換するよりも大きな効果があります。次に音質に大きな影響を与える「カップリングコンデンサー」や「フィルムコンデンサー」のほとんどを国産最高級のオーディオ製品 ESOTERIC Grandioso が使用しているものと同様以上の高級パーツに変更します。これは接続ケーブルを高価なハイエンド品に交換するよりも大きな効果があります。パーツの変更は厳密な試聴で決定し、最終的

にNR1200で「62個」、NR1710では、「100個」のパーツを交換しました。

ピュアオーディオアンプに匹敵する滑らかで透明な音質を実現する NR1200 Special

NR1200 SpecialにはNR1710 Special比でプリアンプ部に2箇所、パワーアンプ部に3箇所、さらにスペシャルなパーツを投入していますが、これは前方に2本しかない2chステレオ再生でも体が包み込まれるような立体的な音場を実現するために、楽器のエコーが完全に消え入るところまで聞き取れるほどの高いS/Nとピュアな信号伝達を実現するため必要でした。

完成したNR1200 Specialは、カスタマイズを行った私自身がAVアンプをベースとしながらこれほど芳醇でスイートなサウンドを引き出せるとは思えなかったほどの透明感と滑らかさ、AIRBOW PM7005 ApplauseやAIRBOW PM8006 Studioに迫るほどの高音質をHDMI/Bluetoothなどのデジタル入力で達成することができました。

スピーカーの存在感を消し去る自然な音質を実現する NR1710 Special

サラウンドの最終目的は「体が包み込まれる濃密な音場の再現」です。今は「あのスピーカーが鳴っている」と分かるのは、「スピーカー間を音が移動するときに、音が一瞬消えてしまった」からです。それぞれのスピーカー間を音が移動するとき、音が「シームレス（完全に連続して）」に移動するのが理想です。

NR1710 Specialは、AIRBOWの徹底的な高音質化により通常のAVアンプでは再現出来ないほどの「小さな音の動きや変化」も忠実に再現します。スピーカーからスピーカーへ音が動くとき「音の空白」を生じさせないからこそスピーカーが消えてしまったような「自然な音の繋がり」が実現しますし、天井にスピーカーを取り付けていなくても、フロントやリアスピーカーへの信号に含まれている「天井からの反射音（エコー）の情報」を確実に再現することで、Dolby Atmosのような「360度方向への音の広がり」が5/6chのスピーカー配置で実現するのです。NR1710 Specialなら、スピーカーが最小限の「5.0（おすすめは6.0もしくは6.1）」でも、十分立体的で素早い音の動きと広がりが実現します。

サラウンドではない音楽信号をサラウンドに変換する「疑似サラウンド機能」も素晴らしい効果を発揮します。ソースが「2ch（ステレオ）やモノラル」でも、この機能をお使いいただければ「コンサート会場やアリーナ」で聞くライブのような「サラウンド体験」を実感していただけます。是非お試しください。

目指したのは音楽に手が届くサウンド

多くの部品を「高音質で大容量なパーツ」に変更したNR1200/1710 Specialは、ご購入直後は残念ながら「50点以下の音質」でしかありません。高音が伸びたりず低音もモヤモヤしているはずですが、しかし、20～50時間お使いいただければ、パーツに馴染みが出てベールが剥がれるように音質が改善し始めます。

高級オーディオには付きもののこの音が良くなる過程を「エイジング」と言いますが、エイジングが完了すると「ボーカルやアナウンサー」など、他のアンプでは不明瞭だった歌詞や言葉がハッキリと聞き分けられることにお気づきになるでしょう。小さな音まで重ならず、ハッキリと分離して聞き取れることにもお気づきになるはずですが。これは、高級パーツの大量投入によりアンプの解像度とS/Nが飛躍的に高まっているNR1200/1710 Specialが「細かな音の違いを明確に再現」できるからです。高音はよどみなく透明で伸びやか。低音は体を揺らすほどパワフル。音量を絞ったとしても、このクラスのアンプには不釣り合いと思えるような超高級スピーカーを鳴らしても、NR1200/1710 Specialは不満のない高音質を発揮します。

音楽は「言語を使わないコミュニケーション」です。言葉を使わないからこそ「細かな音の変化をとことんまで引き出す」ことが音楽をより深く伝えるためには、絶対に必要です。スペックでは表しきれない「表現力の大きさ」を徹底的に磨き込んだNR1200/1710 Specialで聞く音楽は、あなたをライブの感動へと誘います。

毎日聞いているのに、毎日新しい高音質を実感できる。AIRBOWが腕によりを掛けてチューンナップしたNR1200/1710 Specialは、あなたのリビングを音楽あふれる「感動空間」に変えてくれるでしょう。

NR1200 Special 主な仕様

- 定格出力: 75W+75W(8Ω)、100W+100W(6Ω)
A/B 2系統(同時出力可能)
- HDMI 端子: 入力×5、出力×1
- 音声入力: ライン×3、フォノ(MM)×1
- 音声出力: 2.2ch×1、ゾーンプリアウト×1
- デジタル入力: 同軸/光デジタル各1、USB(フロント)×1
有線/無線 LAN、Bluetooth
- ヘッドホン出力: 標準ジャック×1
- チューナー: FM/76.0-95.0 MHz、AM/ 522-1629 kHz
- 消費電力: 210W(定格)、20W(無信号時)、0.5W(待機時)
- 外形寸法:
440(W)×105(H)×378(D)mm(アンテナを寝かせた場合)
440(W)×175(H)×378(D)mm(アンテナを立たせた場合)
- 重量: 7.9 kg
- 仕上げ: シルバーゴールドのみ

NR1710 Special 主な仕様

- 定格出力:
フロント 50W+50W(8Ω)、センター50W(8Ω)、
サラウンド 50W+50W(8Ω)、
サラウンドバック/ハイト 50W+50W(8Ω)、
実用最大出力: 100W(6Ω)
F/C/R/FR/LR/SBR/SBL7系統、フロントバイアンプ対応
- HDMI 端子: 入力×8、出力×1
- 音声入力: ライン×3、フォノ(MM)×1
- 音声出力: 2.2ch×1、ゾーンプリアウト×1
- デジタル入力: 同軸/光デジタル各1、USB(フロント)×1
有線/無線 LAN、Bluetooth
- ヘッドホン出力: 標準ジャック×1
- チューナー: FM/76.0-95.0 MHz、AM/ 522-1629 kHz
- 消費電力: 250W(定格)、20W(無信号時)、0.5W(待機時)
- 外形寸法:
440(W)×105(H)×378(D)mm(アンテナを寝かせた場合)
440(W)×175(H)×378(D)mm(アンテナを立たせた場合)
- 重量: 8.4 kg
- 仕上げ: シルバーゴールド、ブラック

※デジタル入力時、曲の頭や切り替わるところで「ごくまれにプチッという小さなノイズが入る」ことがございますが、仕様で改善する事が出来ません。気になさる場合には、試聴機で確認をお願いいたします。購入後も 30 日以内なら返品を承りますので、安心してご購入下さいませ。

2019 年 12 月 3 日発売予定